



2020年10月12日 投稿者: SATOXITS

GShell 0.6.7 – Canvas入門

社長：おはようございます。

基盤：おはようございます。

社長：昨日のブログをクローズしようとしたら、Vivaldiが反応しなくなりました。

基盤：とりあえず再起動しましょうか。Force Quit…

The image shows two overlapping windows from a macOS system. The top window is the 'Activity Monitor (All Processes)' window, which displays a list of running processes with columns for Threads, PID, Memory, Process Name, and Ports. The 'Vivaldi (Not Responding)' process is highlighted in red, showing it has used 4.74 GB of memory. Other processes include Vivaldi Helper (GPU), kernel_task, WindowServer, Firefox, Vivaldi Helper (Renderer), Terminal, Opera, and Microsoft PowerPoint. Below the list is a 'MEMORY PRESSURE' graph and a summary of memory usage: Physical Memory: 8.00 GB, Memory Used: 7.29 GB, Cached Files: 710.5 MB, Swap Used: 8.90 GB, App Memory: 1.73 GB, Wired Memory: 3.57 GB, and Compressed: 1.99 GB.

The bottom window is a Terminal window titled 'ysato - top - 89x16', displaying the output of the 'top' command. It shows system statistics such as Processes: 505 total, 4 running, 501 sleeping, 4018 threads, and CPU usage: 56.97% user, 12.9% sys, 30.93% idle. It also lists memory regions, physical memory usage (8147M used, 3650M wired), VM size, network statistics, and disk I/O.

PID	COMMAND	%CPU	TIME	#TH	#WQ	#PORTS	MEM	PURG	CMPRS	PGRP	PPID
2362	Vivaldi	95.0	03:13:41	39/1	2	947	4864M+	0B	4600M+	2362	1
236	WindowServer	33.2	21:16:09	11	5	5350+	748M+	5888K	149M-	236	1
1557	Activity Mon	23.9	70:34.04	5	3	2568+	128M+	4384K-	59M-	1557	1
14495	plugin-conta	16.5	01:48.27	29	1	153	144M	0B	75M	24555	24555
2446	Vivaldi Help	12.7	24:45:40	16	1	155	113M+	0B	73M+	2362	2362
24555	firefox	12.6	92:36.15	60	2	10296	562M+	0B	358M+	24555	1

開発：ありやりや…

基盤：あ、今 Memory 5GB 超えました。終わらないですね。

開発：強制っていう割には SIGTERM なんですかね。

社長：自分の遺品整理してるんでしょうかね。

開発：死後の復活に向けてミイラ作りにいそしんでるんじゃないですかね。

基盤：あれ？別プロセスがまたミイラを作っているような…

The image shows a macOS Activity Monitor window with the 'Memory' tab selected. The table below lists the processes and their memory usage:

Threads	PID	Memory	Process Name	Ports	Use
37	2362	5.64 GB	Vivaldi (Not Responding)	953	ysato
24	2370	1.10 GB	Vivaldi Helper (GPU)	696	ysato
230	0	796.8 MB	kernel_task	0	root
10	236	741.8 MB	WindowServer	5,341	_windows
59	24555	562.9 MB	Firefox	10,314	ysato
14	2379	412.3 MB	Vivaldi Helper (Renderer)	463	ysato
8	43979	386.8 MB	Terminal	486	ysato
29	23743	380.9 MB	Opera	1,402	ysato
14	71843	378.7 MB	Vivaldi Helper (Renderer)	249	ysato
10	23748	319.3 MB	Opera Helper (GPU)	723	ysato
14	2407	309.8 MB	Vivaldi Helper (Renderer)	174	ysato
17	52131	294.6 MB	Microsoft PowerPoint	1,653	ysato
10	867	284.4 MB	https://its-more.jp	1,120	ysato

Below the table is a 'MEMORY PRESSURE' graph and a summary of memory usage:

Category	Value
Physical Memory:	8.00 GB
Memory Used:	6.95 GB
Cached Files:	668.0 MB
Swap Used:	10.13 GB
App Memory:	1.89 GB
Wired Memory:	3.56 GB
Compressed:	1.50 GB

The terminal window shows the output of the 'top' command:

```

Processes: 502 total, 3 running, 499 sleeping, 3904 threads
Load Avg: 4.03, 5.15, 15.42 CPU usage: 50.70% user, 16.35% sys, 32.94% idle
SharedLibs: 120M resident, 51M data, 10M linkedit.
MemRegions: 320153 total, 1568M resident, 73M private, 1092M shared.
PhysMem: 7865M used (3637M wired), 326M unused.
VM: 4016G vsize, 1993M framework vsize, 1517457876(22504) swapins, 1523599906(0) swapouts
Networks: packets: 86236481/88G in, 47374982/5154M out.
Disks: 62541067/6195G read, 36367972/5932G written.

PID    COMMAND      %CPU    TIME    #TH    #WQ    #PORTS  MEM    PURG    CMPRS  PGRP
2362   Vivaldi      89.0    03:27:09 38/1   2      953     5782M+ 16K+   5408M- 2362
236    WindowServer 29.9    21:19:42 10      5      5368+   743M+   6016K- 138M- 236
1557   Activity Mon 22.0    71:37.35 6       4      1881    130M+   12M-   16M-   1557
14495  plugin-conta 16.6    04:10.08 29      1      153     142M    0B     72M    24555
2446   Vivaldi Help 13.1    24:47:28 16      1      155     110M+   0B     73M-   2362
24555  firefox      13.1    94:28.34 59      2      10314   563M+   0B     371M   24555

```

基盤：あ、ようやく反応しました。

The image shows two screenshots from a macOS environment. The top screenshot is the Activity Monitor window, displaying a list of processes with columns for Threads, PID, Memory, Process Name, Ports, and User. A dialog box is overlaid on the screen, asking "このサイトを離れますか?" (Do you want to leave this site?) with a sub-message "行った変更が保存されない可能性があります。" (Changes you made may not be saved). The dialog has "キャンセル" (Cancel) and "このページを離れる" (Leave this page) buttons. Below the process list is a "MEMORY PRESSURE" graph and a summary table:

Memory Used:	7.55 GB	App Memory:	1.33 GB
Cached Files:	444.5 MB	Wired Memory:	3.62 GB
Swap Used:	4.65 GB	Compressed:	2.61 GB

The bottom screenshot is a terminal window titled "ysato — top — 89x16". It displays system statistics and the output of the 'top' command:

```
Processes: 482 total, 5 running, 477 sleeping, 3940 threads
Load Avg: 9.88, 6.87, 15.37 CPU usage: 53.22% user, 40.55% sys, 6.22% idle
SharedLibs: 99M resident, 30M data, 6780K linkedit.
MemRegions: 315130 total, 685M resident, 20M private, 679M shared.
PhysMem: 8074M used (3713M wired), 117M unused.
VM: 3928G vsize, 1993M framework vsize, 1520742793(58982) swapins, 1526245791(63732) swap
Networks: packets: 86236854/88G in, 47375664/5154M out.
Disks: 62612852/6208G read, 36414608/5942G written.
```

PID	COMMAND	%CPU	TIME	#TH	#WQ	#PORTS	MEM	PURG	CMPRS	PGRP	PPID
0	kernel_task	69.7	11:45:40	230/4	0	0	811M+	0B	0B	0	0
71843	Vivaldi Help	68.7	15:55:21	20/1	5	267+	379M-	0B	367M-	2362	2362
2379	Vivaldi Help	66.0	10:33:14	19/2	4	475	436M+	0B	173M+	2362	2362
236	WindowServer	40.4	21:20:01	14	6	5369+	820M+	3328K	129M+	236	1
1557	Activity Mon	23.1	71:42.71	5	3	1878-	134M+	1132K+	58M+	1557	1
14495	plugin-conta	18.0	04:20.65	29	1	153	142M	0B	73M+	24555	24555

社長：Chromeに戻りましょうかね。あ、あとべーがまた認証を求めてきました。

開発：やたら頻繁になりましたね。

社長：しかもアンケートみたいのがポップアップ。お友達におすすめしますかって… Extremely Unlikely。ありえねー。ぜってー。かな？英語の勉強になりますね。

基盤：認証にブラウザを使うって困りますよね。Vivaldiが固まってたらそこで止まってしまう。

社長：デフォルトのブラウザをChromeに戻そうかと思っています。

* * *

基盤：やる気ワクワクワークマン♪

開発：リフォームしようよう♪

基盤：区別がつかないですね。

社長：うちの始業ベルにしますかね。

基盤：ヤマダ電気♪

開発：元気の出るサブリミナルみたいなのがあったら良いかもですね。GShellに仕込んで。

基盤：こんにゃく畑♪

社長：今日はボウリングの日なので、それを念頭に作業スケジュールを進めたいと思います。

開発：さて今日は何に取り組みましょう。

基盤：その前に。details が開かなくなってます。

開発：ありゃりゃ。click を Shading でがめちゃってるからですかね…

開発：ありゃりゃ。windowのclickをがめてました。

社長：なぜそのような作りに？

開発：なぜかShading Canvasのelementに対するkeydown/keyupが拾えなかったもので。結局こいつ `(>_<){Down}` がdocumentのkeyイベントを押さえて捨ててたからでした。で、それをいじった時に間違ってclickまで変えてしまった。

基盤：イベントはフォーカスしているエレメントに最初にくるのでは？

開発：そこの動きがどうも期待通りにならなかったんです。何かをいじったら直ったw

社長：この、positionとdisplayとoverflowとz-indexの関係は難解ですね。

開発：zoomとscaleとwidth/hight、top/left の関係もまだよくわかってないです。

社長：まあボチボチですね。

探すのをやめた時見つかる事もよくある話で

開発：結局井上陽水は天才でしたね。

社長：まあ子供心になんかすごい人だなとは思ってました。

* * *

基盤：やる気ワクワクワークマン♪

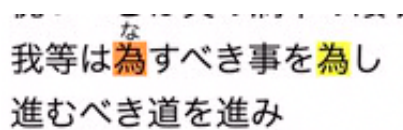
社長：それで今日は何から取り組みましょう。

開発：「仕事」って仕えるってという意味ですかね。だとするとなんか嫌な感じ。

社長：高村光太郎は為事って表記してましたね。

開発：中性的な表記ですね。

基盤：光太郎は「為す」という言葉が好きな様に見えます。良い意味で使ってますよね。



我等は^な為すべき事を為し
進むべき道を進み

社長：為事・workの結果としてwork・作品ができるんだと思います。

開発：まあにんべんがつくと偽ですけどw

基盤：やる気ワクワクワークマン♪ Google IMEも学習したようです。

開発：新製品が安いとか意味不明のキャッチコピーを店内に大音量で流し続けてる店が大穂にありました。嫌がらせなのか洗脳のつもりだったのか。今はもう無い。

社長：まあこのネット通販の時代ですからね。ネットで無いとすると、こっちの履歴を覚えてくれていて適切な対応をしてくれる近所の電器屋さんとかのほうが多少高くても良いと思います。モノじゃなくてサービスを売る。プライスレス。

開発：そういうの、もう絶滅しちゃったんじゃないですかね。

社長：こんな親切なサービスをしてもらえる私は、きっと特別な存在なのに違いはないと感じるわけです。

基盤：今では私がおじいさんw

社長：おっともうお昼ですね。さんま食べてきます。

* * *



* * *

社長：おっと、目が覚めたらもうこんな時間です。

基盤：ボウリングに出かけるまで3時間弱。

社長：今日はイベントリスナーのバグを一つ取ったと日記に書いて終わりますか。

開発：いや、少しだけCanvasをやってみたいです。[MDNのチュートリアル](#)。

社長：目次を見ただけでお腹いっぱい。

基盤：これだけで1週間は楽しめそうですね。

開発：手軽なところから行きましょう。前々から気になっていたgsh.htmlの内蔵画像データの置き換えをやりたいです。ファイルが小さくなりますし、状況によって色やフォントが変えられます。

社長：賛成。

基盤：これって、DOMの描画をCanvasにするってできないんですかね。HTMLとCSSでCanvasに書きちゃう。

開発：パッと見、基本機能としては無いみたいです。Canvasに書いたものをPNGとかの画像にする機能はあります。

社長：document.write のノリで描けたらいいのにね。

基盤：要するにCanvasはwindowたれと。

社長：X server に出来たら良いですね。

開発：たぶん誰かが作ってるんじゃないかとは思いますが。まあそれは後で調べましょう。まずは基礎から。

* * *

開発：ふう。とりあえずこんな感じかと。


```
</style>
<script>
function DrawTextCanvas(){
  ctx = TextCanvas_1.getContext('2d');
  var textfont = '';
  if( TextCanvas_1_Italic.value == 'on' ) textfont += ' italic';
  if( TextCanvas_1_Bold.value == 'on' ) textfont += ' bold';
  textfont += ' '+TextCanvas_1_Size.value+'px';
  textfont += ' '+TextCanvas_1_Font.value;
  //ctx.font = 'italic bold 64px Georgia';
  console.log('TxFont='+textfont);
  ctx.font = textfont;
  ctx.fillText(TextCanvas_1_Text.value,10,80);
}
DrawTextCanvas();
TextCanvas_1_Draw.addEventListener('click',DrawTextCanvas);
function ClearTextCanvas(){
  cv = TextCanvas_1;
  ctx = cv.getContext('2d');
  ctx.clearRect(0,0,cv.width,cv.height);
}
TextCanvas_1_Clear.addEventListener('click',ClearTextCanvas);
</script>
<!-- } -->
```

基盤：位置決めも必要ですね。複数のテキストを組みあわせる場合。

開発：それなんですけど、基本は、テキストごとにCanvasという部品というかエレメントというかタグにして保存するのかなという気がします。位置決めやリサイズはCanvasの外でやる。

基盤：普通のドローイングツールもそうってますね。

社長：するとグルーピングが必要ですね。

基盤：それもHTMLとCSSで出来ますよね。

開発：Canvasにメソッドで書き込む情報をタグの属性として全部表現できるのか不明ですが、HTMLのタグとして情報を詰め込んで部品管理したいですね。

基盤：data-scriptみたいな属性を作ってスクリプトを突っ込んじゃうとか。

開発：あとはフォントのセレクターと、カラーピッカーですね。

社長：名のある色の見本と、配色見本が出てきてくれるとうれしいですね。

開発：次はいよいよ、JavaScript版 Pointillism をやりたいと思います。

社長：宿願でしたね。

基盤：そろそろボウリングに出かける準備をしたほうが良いかと。

社長：気分よく終えて帰れたらまた続きをやりましょう(^-^)/

* * *

社長：ただいま。

基盤：お帰りなさい。試合はどうでした？

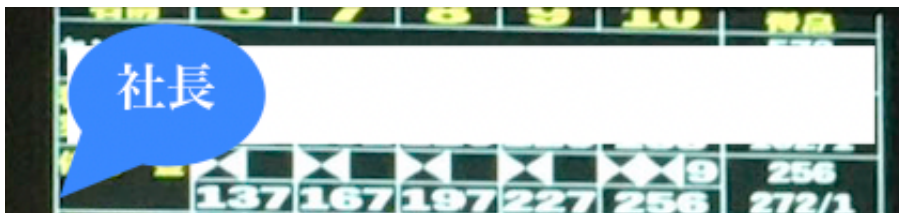
社長：それより今日は野菜をたくさん仕入れてきました。この小松菜、98円ですよこのボリュームで。キャベツもほら。半分ですが、こんなにみっちり柔らかそうな葉が詰まって86円！

開発：おー、このカブ、茎もそのまま食べられますね。カシュカシュ。イける！

社長：そして定番のタコの足です。もぐもぐ。うまい。

基盤：それで試合はどうでした？

社長：えーと、今Photos同期中… しました。1ゲーム目はターキーで始まり、このように終わっています。



開発、基盤：おおーっ。

開発：これ、3Gで700行ったんじゃないですか？

基盤：600は楽勝ですよ。

社長：まあ、256というキリの良い数字がうれしかったですね。

社長：うーん、週に一度の贅沢だけど、やっぱりタコの足はうまいですね。これ一本でいったいタウリン何gくらい含有してるんでしょう？

開発：これで600円はお値打ちですよ。

基盤：この旨味ってタウリンの味なんですかね？

社長：そういえば堤恭平…なんだこれ？こいつ筒美京平を知らんのけ？タコめ。

基盤：だからもう早くGoogle IMEに切り替えましょうよ。

社長：試合中にスマホを覗いたら、筒美さんが亡くなったって。享年80歳。

開発：たとえ一発屋だって、人々の記憶に残る作品を世に残すってすごい事ですよ。この人いったい何百発屋ですかね。

社長：私の子供の頃の記憶に残っている曲の多くが筒美作品だったように思います。

基盤：Wikiによると「TOP10入りした作品は200曲を超えている^[9]。日本音楽界でも多くのヒット曲を生み出した作曲家である。」

社長：しかしこのリストの中だと、私が好きなのは本田美奈子のTemptation/1985年で最後ですね。学園祭に来て歌ってくれましたっけ。ときめいて テンペーション♪

開発：35年前ということは、筒美45歳の時の作品ですか。

基本：芸術家って活動期間が短いですよ。いわゆる才能が枯れてしまうみたい。

社長：桑田佳祐という化物がいますよ。サザンのデビュー当時はみんなが一発屋のコミックバンドかと思ってたものですが。

開発：まあ、絵描きは死ぬまでですよ。北斎とか。

社長：で、ちょうどそのころ発売されたのがこのシャウエッセン。研究室の後輩のキャンプ用バーナーで温めて食べてましたっけ。めっちゃ御馳走でした。

基盤：ロングセラーですね。

社長：最近スーパーで再発見したのですが、今食べてもなかなかイケてると思います。パキッ。

開発：とにかくこのカブの茎はまじでうまいです。みずみずしくて食感最高。カシュ。でもちょっとあっさりしすぎですかね。少しは野性味も無いと。

社長：まあ茎まで美味しく感動するのは上等な葉生姜ですよ。あの絵も言われぬ、得も言われぬ香りと。ああ、このIMEはまともに日本語を知らないということを確認しました。

開発：葉生姜は当たり外れが激しすぎて、飲み屋で頼むには割りに合わないギャンブルだと思います。ほぼ外れですし。

社長：昔ガーデニングしてた頃雑草をむしってたら、手にすごくいい香りがついて来て、なんだろうと思ってかき分けてみたら、雑草に埋もれていた生姜の葉でした。生姜なんて全然簡単に作れて、普通の品種でも若いのは葉生姜的に美味しいのに。

開発：茗荷もスーパーでは馬鹿みたいに高いですよ。松茸かよ？みたいな。

社長：あしたばも凄かったですね。出たばかりの葉はミツバの味がして、切断すると真っ黄色な液体が湧いてくる、ビタミンC製造機みたいな。でっかい芋虫がどっさり群がってましたけど。まああれは、蝶を育ててるようなものでした。

開発：芋虫がたわわになってたって言えばフェネルですね。あの衝撃的な写真、どこかに残っていると思います。

基盤：このカブって水耕栽培ですかね？茎の隙間に土とか入ってないんですが。

社長：ある意味サラダっぽすぎて、漬けたり、温めた時にどうなのよ？って気もしますね。

開発：あー美味しかった。

社長：シメに柿をいただきましょう。

基盤：がぶっ。。。ゲー、これ腐ってませんか？中が全部真っ黒！

開発：がぶ。でも普通に美味しいですね。

社長：もぐもぐ。そういう品種なんでしょうね。・・・えーと、包装に西村早生柿と書いてあります。

開発：柿は、中学校の通学路とか、トレーニングで走った山に生えてた奴がいちばん美味しかったですね。こういう平べったくて歯応えの無いのとは違った。てっぺんに何重にかスジが入ってて、実には美味しそうな茶色のマダラ筋がたくさん入ってて、シャキッと歯応えがあって、ネットリしてて。渋みもほどよくあって。

社長：柿の木の持ち主さんから苦情が来たんだと思いますが、校長室でクラブ員並ばされて説教されましたっけ。

開発：田舎では山に生えてる柿って勝手に採って食べて良いものだと思ってましたからね。

社長：持ち主さんは、あの美味しい柿が熟すのを楽しみにしてたんでしょうね。

基盤：ファイトー、オーツ、とか掛け声かけてランニングして来たジャージの団にごっそり食べられてしまったと。

開発：筒美京平って聞くとあの頃の風景が蘇りますね。

基盤：凡人の何十倍も人生を生きたって感じですかね。

開発：ああいう人でも何かやり残した感であるんでしょうかね？

社長：晩年の本人はどう感じてたんでしょうねえ。もの作りが思うようにものを作れなくなったら寂しいと思うんです。ものを作るのが生きがいなわけですから。その点、うちは今が絶頂だしこれらかも安泰です。一句浮かびました。

天才は枯れるが凡才は枯れない

基盤：お上手です。

開発：まあ80歳は昔で言えば大往生ですよ。

社長：また逢う日まで。

-- 2020-1012 SatoxITS

GShell-0.6.7 by SatoxITS 

UA:Mozilla/5.0 (Macintosh; Intel Mac OS X 10_15_7) AppleWebKit/605.1.15 (KHTML, like Gecko) Version/14.0 Safari/605.1.15

2020/09/13 08:58:11

2020/09/13 09:00:44

Elapsed: 152.674 s

Skew: 0 ms

GShell version 0.6.7 // 2020-10-12 // SatoxITS



GShell // a General purpose Shell built on the top of Golang

It is a shell for myself, by myself, of myself. --SatoxITS(^-^)
prev.

Edit Save Load Vers 0 Fork Stop Unfold
Digest Source

```
*/ /*
> Statement
*/ /*
> Features
*/ /*
> Index
*/ //
> Go Source
//
> Considerations
// /*
> References
*/ /*
> Raw Source
*/ /*
*/ /*
> GJ Console
*/ /*
> Form Auto. Filling
*/ /*
> BlinderText
*/ /* /* // //
> Golang / JavaScript Link
/*
> GJ Link
*/ /* /* /*
> Live HTML Snapshot
*/ /*
> Event sharing
*/ /* // /*
> Wirtual Desktop
*/ // // // /*
> SBSidebar
*/ // // // // /*
> Affiliate
*/ // // // // /*
```


▼ Shading Canvas

Shading Canvas

Commands

Placement Mode

a ... apply (into absolute position)

j ... bring down (ArrowDown)

k ... bring up (ArrowUp)

h ... bring left (ArrowLeft)

l ... bring right (ArrowRight)

0 ... z-index = 0

+ ... z-index += 1

- ... z-index -= 1

r ... return to here (relative position)

c ... clear the log text

Note: the HTML text must be contenteditable to catch Key Event.

Clear

Draw

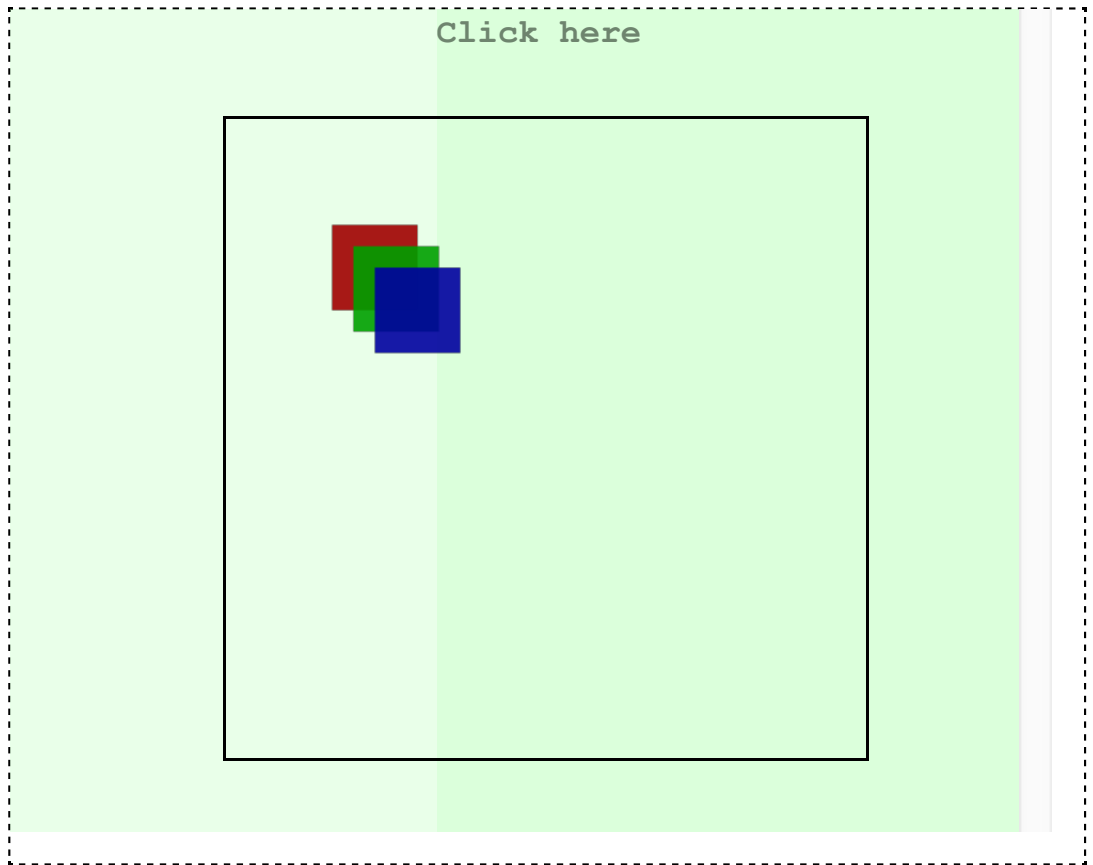
Georgia

62

Pixels Bold Italic



GShell で Go!



* / / / / / / *

▶ Work Template

* / / / / / / *

▼ Original Source

Original Source of GShell

* / / / / /

//